

# 最新鋭バリ取り機導入

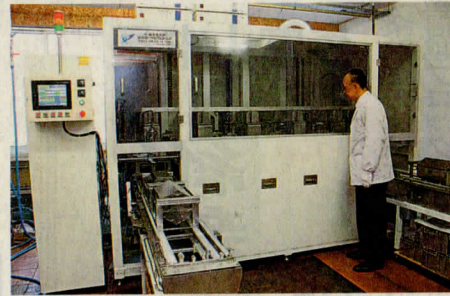
マイデンキ精工

## 超音波で除去、開発に協力

タップ(ねじ穴)加工を手掛けるマイデンキ精工(高岡市)は、金属や樹脂加工で生じる突起(バリ)を超音波で除去する洗浄機を導入した。同社が開発に協力し、国内では最新鋭の機器という。近

年、精密部品で微細なバリが製品に与える影響が懸念されており、自社製品の精度向上につなげるとともに、他の社の除去作業を請け負いたい考えだ。

導入した機械は、ブルー・スターR&D(相模原市)が開発した「真・超音波バリ取り洗浄機」。水に超音波を当て、微細な真空の固まりの生成と崩壊を繰り返し、ことで生じる衝撃波でバリを取る仕組みだ。



精密部品では、

モーターなどの回転部分に挟まり機能を低下させたりする例があり、迅速かつ正確な除去作業が求められている。

マイデンキ精工の磨伊義広社長は「バリ取りを事業の新たな柱に

育てたい」と話している。